



文法：疑問：間接疑問



文法：疑問：間接疑問：基礎演習：基本

🐦 基本

肯定文	: Mr. Hiraishi teaches mathematics. <small>☞主語が三人称単数&現在時制→動詞にsが付く。</small> 平石先生が、数学を、教えます。
Yes/No疑問文	: Does Mr. Hiraishi teach mathematics? <small>☞Yes/No疑問文→文頭にDo/Doesを置き、動詞は原形に。</small> 平石先生が数学を教えますか？
疑問詞疑問文	: What does Mr. Hiraishi teach ? <small>☞疑問詞疑問文→尋ねる部分を疑問詞に置き換えて文頭へ移動。</small> 平石先生が何を教えますか？
間接疑問節	: what Mr. Hiraishi teaches ... <small>☞疑問詞の後を肯定文の語順に戻す⇨doesが消え三単現のs復活。</small> 平石先生が何を教えるのかを…
完成	: We don't know what Mr. Hiraishi teaches . <small>☞別の文の中で目的語(◎)などとして使用。</small> 私達は、 平石先生が何を教えるのかを 、知らない。

(1) 肯定文 (be動詞) : これは、犬です。

☞冠詞aを忘れないように。

(2) Yes/No疑問文 (be動詞) : これは、犬ですか？

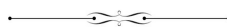
☞be動詞のYes/No疑問文…be動詞を文頭へ移動。

(3) 疑問詞疑問文 (be動詞) : これは、何ですか？

☞主格補語(◎) dogを疑問詞whatに置き換えて、文頭へ移動。

(4) 間接疑問 (be動詞) : これが何であるかを、私は知っている。

☞疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(5) 肯定文 (be動詞) : マイク (Mike) は、トム (Tom) の友達です。

☞所有格。トムの～=Tom's ～。

- (6) Yes/No疑問文 (be動詞) : マイクは、トムの友達ですか。

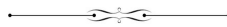
☞ be動詞のYes/No疑問文…be動詞を文頭へ移動。

- (7) 疑問詞疑問文 (be動詞) : マイクは誰の友達ですか？

☞ 主格補語 (C) 「Tom's friend (トムの友達)」 → 「w□□□□ friend (誰の友達)」をセットで文頭移動。

- (8) 間接疑問 (be動詞) : マイクが誰の友達かを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



- (9) 肯定文 (一般動詞) : 彼は、東京に、住んでいる。

☞ 義務的副詞句 (A) の前置詞句。

- (10) Yes/No疑問文 (一般動詞) : 彼は、東京に、住んでいますか？

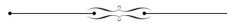
☞ 一般動詞のYes/No疑問文…文頭にdoes/doを置く。

- (11) 疑問詞疑問文 (一般動詞) : 彼は、どこに、住んでいますか？

☞ 義務的副詞句 (A) 「in Tokyo (東京に)」 → 「w□□□□ (どこに)」を文頭移動。

- (12) 間接疑問 (一般動詞) : 彼がどこに住んでいるかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す (三単現のs復活)。



- (13) 肯定文 (助動詞) : 彼女は日曜日に学校へ行くことができます。

☞ 助動詞canを使用。

- (14) Yes/No疑問文 (助動詞) : 彼女は日曜日に学校へ行くことができますか？

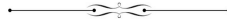
☞ 助動詞のYes/No疑問文…助動詞を文頭移動。

(15) 疑問詞疑問文（助動詞）：彼女はいつ学校へ行くことができますか？

☞ 副詞句 (M) 「日曜に」→「いつ」を文頭移動。

(16) 間接疑問（助動詞）：彼女がいつ学校へ行くことができるかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(17) 肯定文（過去形）：彼らはこの車を使いました。

☞ 指示形容詞。

(18) Yes/No疑問文（過去形）：彼らはこの車を使いましたか？

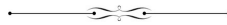
☞ 一般動詞（過去時制）のYes/No疑問文。

(19) 疑問詞疑問文（過去形）：彼らはどの車を使いましたか？

☞ 目的語 (O) 「this car (この車)」→「w□□□□ car (どの車)」をセットで文頭移動。

(20) 間接疑問（過去形）：彼らがどの車を使ったかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(21) 肯定文（受動態）：トムは、彼が彼女を助けたので（≡メアリを助けたので）、メアリに好かれている。

☞ becauseの従属接続詞節を後半で使用（過去時制）。

(22) Yes/No疑問文（受動態）：トムは、メアリを助けたから、メアリに好かれているのですか？

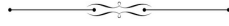
☞ 受動態のYes/No疑問文…be動詞を文頭へ移動。

(23) 疑問詞疑問文（受動態）：なぜトムはメアリに好かれているのですか？

☞ 副詞節 (M) 「メアリを助けたから…」→「w□□ (なぜ)」を文頭移動。

(24) 間接疑問（受動態）：なぜトムがメアリに好かれているかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(25) 肯定文（現在完了）：ケンがフランスへ3回行ったことがある。

☞ 過去分詞beenを使用。

(26) Yes/No疑問文（現在完了）：ケンがフランスへ3回行ったことがありますか？

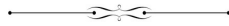
☞ 現在完了のYes/No疑問文…have/hasを文頭へ移動。

(27) 疑問詞疑問文（現在完了）：ケンがフランスへ何回行ったことがありますか？

☞ 副詞句 (M) 「three times (3回)」 → 「□□□ □□□□ times (どれくらい多くの回数、≒何回)」をセットで文頭移動。

(28) 間接疑問（現在完了）：ケンがフランスへ何回行ったことがあるかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(29) 肯定文（比較）：メアリは赤が一番好きです。

☞ ～が一番好きだ=like ~ the best.

(30) Yes/No疑問文（比較）：メアリは赤が一番好きですか？

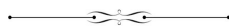
☞ 一般動詞（過去時制）のYes/No疑問文。

(31) 疑問詞疑問文（比較）：メアリは、何色が、一番好きですか？

☞ 何色=□□□□ c□□□□。

(32) 間接疑問（比較）：メアリは何色が一番好きかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(33) 肯定文（存在構文）：そのクラス（の中）には30人の生徒がいます。

☞ Thereで書き出し。

(34) Yes/No疑問文（存在構文）：そのクラスには30人の生徒がいますか？

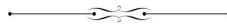
☞ 存在構文のYes/No疑問文…be動詞を文頭へ移動。。

(35) 疑問詞疑問文（存在構文）：そのクラスには何人の生徒がいますか？

☞ 主語 (S) 「30 students (30人の生徒)」 → 「□□□ □□□□ students (どれくらい多くの生徒達、≒何人の生徒)」をセットで文頭移動。

(36) 間接疑問（存在構文）：そのクラスには何人の生徒がいるかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(37) 肯定文（前置詞の目的語）：彼は午後にそのパーティーに来るでしょう。

☞ 助動詞will（単純未来）を使用。。

(38) Yes/No疑問文（前置詞の目的語）：彼は午後にそのパーティーに来ますか？

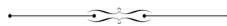
☞ 助動詞のYes/No疑問文。

(39) 疑問詞疑問文（前置詞の目的語）：彼はいつそのパーティーに来ますか？

☞ 副詞句 (M) 「in the afternoon (午後に)」 → 「w□□□ (いつ)」を文頭移動。

(40) 間接疑問（前置詞の目的語）：彼がいつそのパーティーに来るのかに、彼女は興味がある。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。～に興味がある=be interested in ~。



(41) 肯定文（前置詞+疑問詞）：この本は京都について（のもの）です。

☞ 義務的副詞句 (A) の前置詞句。～について=be about ~。

(42) Yes/No疑問文（前置詞＋疑問詞）：この本は京都について（のもの）ですか？

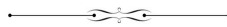
☞ be動詞のYes/No疑問文。

(43) 疑問詞疑問文（前置詞＋疑問詞）：この本は何について（のもの）ですか？

☞ 前置詞の目的語の「Kyoto（京都）」→「what（何）」のみを文頭移動、前置詞aboutは文末に残す。

(44) 間接疑問（前置詞＋疑問詞）：この本が何について（のもの）かを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(45) 肯定文（前置詞＋疑問詞）：彼は日本で生まれた。

☞ ～で生まれる=be born in ～。

(46) Yes/No疑問文（前置詞＋疑問詞）：彼は日本で生まれましたか？

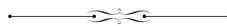
☞ be動詞のYes/No疑問文（過去時制）。

(47) 疑問詞疑問文（前置詞＋疑問詞）：彼はどの国で生まれましたか？

☞ 前置詞の目的語の「Japan（日本）」→「what country（どの国）」のみを文頭移動、前置詞inは文末に残す。

(48) 間接疑問（前置詞＋疑問詞）：どの国で彼が生まれたかを、私は知っている。

☞ 疑問詞の後に続く部分を肯定文の語順に戻す。



(49) 肯定文（間接疑問の主語）：ボブは昨日、死んだ。

☞ 死ぬ=die。

(50) Yes/No疑問文（間接疑問の主語）：ボブは昨日、死にましたか？

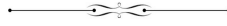
☞ 一般動詞（過去時制）のYes/No疑問文。

(51) 疑問詞疑問文（間接疑問の主語）：ボブはいつ、死にましたか？

☞ 副詞 (M) 「昨日」 → 「いつ」を文頭移動。

(52) 間接疑問（間接疑問の主語）：ボブがいつ死んだかは、彼らに知られていない。

☞ 主語 (S) の位置に間接疑問を入れる。～に知られている=be known to ～。



(53) 肯定文（間接疑問の補語）：私はそこでその本を買うべきだ。

☞ そこで=there (副詞) ; ～すべき (助動詞) =should。

(54) Yes/No疑問文（間接疑問の補語）：私はそこでその本を買うべきですか？

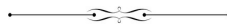
☞ 助動詞のYes/No疑問文。

(55) 疑問詞疑問文（間接疑問の補語）：私はどこでその本を買うべきですか？

☞ 副詞 (M) 「there (そこで)」 → 「where (どこで)」を文頭移動。

(56) 間接疑問（間接疑問の補語）：問題は、どこで私とその本を買うべきか、だ。

☞ 主格補語 (C) の位置 (be動詞の後) に間接疑問を入れる。問題=the question。



(57) 疑問形容詞：私は、君は何色が好きかを、知っている。

☞ 好きだ=like。

(58) 疑問形容詞：私は、君が朝何時に起きるかを、知っている。

☞ 起きる=get up。

(59) 疑問形容詞：私は、君はどの車を使うか、知っている。

☞ どの車=which car。

(60) 疑問形容詞：私は、これが何の（≡どんな）種類の花か、知っている。

☞ 種類=kind。

(61) 疑問形容詞：私は、何の（≡どんな）タイプの車を彼らが運転するか、知っている。

☞ タイプ=type。

(62) 疑問代名詞・所有格：私は、これが誰の家かを、知っている。

☞ 家=house。

(63) 疑問副詞（程度）：私は、彼が何歳か、知っている。

☞ 何歳（どれくらい古い）=how old。

(64) 疑問副詞（程度）：私は、君がどれだけ速く走れるか、知っている。

☞ 速く=fast。

(65) 疑問副詞（程度・数量）：私は、君が車を何台持っているか、知っている。

☞ 何台の車≡どれくらい多くの車達。

(66) 疑問副詞（程度・頻度）：私は、君がどれくらい頻^{ひんぱん}にゴルフをするか、知っている。

☞ 頻繁に=often。

解答

- (1) This is a dog.
- (2) Is this a dog?
- (3) What is this?
- (4) I know what this is.
- (5) Mike is Tom's friend.
- (6) Is Mike Tom's friend?
- (7) Whose friend is Mike?
- (8) I know whose friend Mike is.
- (9) He lives in Tokyo.
- (10) Does he live in Tokyo?
- (11) Where does he live?
- (12) I know where he lives.
- (13) She can go to school on Sunday.
- (14) Can she go to school on Sunday?
- (15) When can she go to school?
- (16) I know when she can go to school.
- (17) They used this car.
- (18) Did they use this car?
- (19) Which car did they use?
- (20) I know which car they used.
- (21) Tom is liked by Mary because he helped her.
- (22) Is Tom liked by Mary because he helped her?
- (23) Why is Tom liked by Mary?
- (24) I know why Tom is liked by Mary.
- (25) Ken has been to France three times.
- (26) Has Ken been to France three times?
- (27) How many times has Ken been to France?
- (28) I know how many times Ken has been to France.
- (29) Mary likes red the best.
- (30) Does Mary like red the best?
- (31) What color does Mary like the best?
- (32) I know what color Mary likes the best.
- (33) There are 30 students in the class.
- (34) Are there 30 students in the class?
- (35) How many students are there in the class?
- (36) I know how many students there are in the class.
- (37) He will come to the party in the afternoon.
- (38) Will he come to the party in the afternoon?
- (39) When will he come to the party?
- (40) She is interested in when he will come to the party.
- (41) This book is about Kyoto.
- (42) Is this book about Kyoto?
- (43) What is this book about?
- (44) I know what this book is about.
- (45) He was born in Japan.
- (46) Was he born in Japan?
- (47) Which country was he born in?
- (48) I know which country he was born in.
- (49) Bob died yesterday.
- (50) Did Bob die yesterday?
- (51) When did Bob die?
- (52) When Bob died is not known to them.
- (53) I should buy the book there.
- (54) Should I buy the book there?
- (55) Where should I buy the book?
- (56) The question is where I should buy the book.
- (57) I know what color you like.
- (58) I know what time you get up in the morning.
- (59) I know which car you use.
- (60) I know what kind of flowers this is.
- (61) I know what type of cars they drive.
- (62) I know whose house this is.
- (63) I know how old he is.
- (64) I know how fast you can run.
- (65) I know how many cars you have (/own).
- (66) I know how often you play golf.



文法：疑問：間接疑問



文法：疑問：間接疑問：基礎演習：疑問詞主語

🦋 主語の部分をつねる疑問文

肯定文	: Mr. Hiraishi teaches <u>mathematics</u> . 平石先生が数学を教えます。
疑問詞疑問文	: <u>Who</u> teaches mathematics? <small>☞ 主語を疑問詞whoで置き換えるだけで、語順変化はナシ。</small> <u>誰</u> が数学を教えますか？
間接疑問節	: who teaches mathematics <small>☞ 無変化、疑問詞疑問文をそのまま間接疑問節としても使える。</small> 誰が数学を教えるのかを…
完成	: We don't know <u>who teaches mathematics</u> . <small>☞ 別の文の中で目的語(◎)などとして使用。</small> 私達は、 <u>誰が数学を教えるのかを</u> 、知らない。

(1) 肯定文：明日トムがその公園へ行くでしょう。

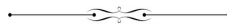
☞ 助動詞will (単純未来) を使用。

(2) 疑問詞疑問文：明日だれがその公園へ行きますか？

☞ 主語(◎) 「トム」→「誰」に置き換え、語順はそのまま。

(3) 間接疑問：明日だれが公園へ行くかを、私は知っている。

☞ 間接疑問を目的語(◎)の位置に入れる。



(4) 肯定文：彼女の腕時計がケンにより壊されました。

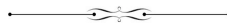
☞ 受動態 (過去時制)。

(5) 疑問詞疑問文：何がケンにより壊されましたか？

☞ 主語(◎) 「彼女の腕時計」→「何」に置き換え、語順はそのまま。

(6) 間接疑問：何がケンにより壊されたかを、私は知っている。

☞ 間接疑問を目的語(◎)の位置に入れる。



(7) **肯定文**：日本が2020年にオリンピックを開催します。

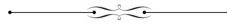
☞ 助動詞willを使用。～を開催する=host；オリンピック=the Olympic Games。

(8) **疑問詞疑問文**：どの国が2020年にオリンピックを開催しますか？

☞ 主語 (S) 「日本」→「どの国」に置き換え、語順はそのまま。

(9) **間接疑問**：私は、どの国が2020年にオリンピックを開催するか、知っている。

☞ 間接疑問を目的語 (O) の位置に入れる。



(10) **肯定文**：トムの祖父は昨年死んだ。

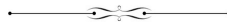
☞ 祖父=grandfather。

(11) **疑問詞疑問文**：誰の祖父が昨年死にましたか？

☞ 主語 (S) 「トムの祖父」→「誰の祖父」に置き換え、語順はそのまま。

(12) **間接疑問**：私は誰の祖父が昨年死んだか知っている。

☞ 間接疑問を目的語 (O) の位置に入れる。



(13) **肯定文**：たくさんの生徒が、そのクラブに入りました。

☞ 過去時制。～に入る=join。

(14) **疑問詞疑問文**：何人の生徒がそのクラブに入りましたか？

☞ 主語 (S) 「たくさんの生徒」→「何人の生徒(≡どれくらい多くの生徒達)」に置き換え、語順はそのまま。

(15) **間接疑問**：私は、何人の生徒がそのクラブに入ったか、知らない。

☞ 間接疑問を目的語 (O) の位置に入れる。

解答

- (1) Tom will go to the park tomorrow.
- (2) Who will go to the park tomorrow?
- (3) I know who will go to the park tomorrow.
- (4) Her watch was broken by Ken.
- (5) What was broken by Ken?
- (6) I know what was broken by Ken.
- (7) Japan will host the Olympic Games in 2020.
- (8) Which country will host the Olympic Games in 2020?
- (9) I know which country will host the Olympic Games in 2020.
- (10) Tom's grandfather died last year.
- (11) Whose grandfather died last year?
- (12) I know whose grandfather died last year.
- (13) Many (/A lot of) students joined the club.
- (14) How many students joined the club?
- (15) I don't know how many students joined the club.



文法：疑問：間接疑問



文法：疑問：間接疑問：基礎演習：if, whether

「～かどうか (Yes/No疑問文)」の間接疑問

肯定文	: Mr. Hiraishi is a math teacher. 平石先生は数学の先生だ。
間接疑問節	: if Mr. Hiraishi is a math teacher <small>☞文頭にifを付けるだけ。</small> <small>ホエザア</small> whether Mr. Hiraishi is a math teacher <small>☞文頭にwhetherを付けるだけ。</small> 平石先生が数学の先生かどうかを…
完成	: We don't know <u>if Mr. Hiraishi is a math teacher.</u> We don't know <u>if Mr. Hiraishi is a math teacher or not.</u> We don't know <u>whether Mr. Hiraishi is a math teacher.</u> We don't know <u>whether Mr. Hiraishi is a math teacher or not.</u> <small>☞節末or not.</small> We don't know <u>whether or not Mr. Hiraishi is a math teacher.</u> <small>☞前置or not.</small> 平石先生が数学の先生かどうかを、私達は知らない。

- (1) 肯定文：トムは数学が好きです。

☞一般動詞。

- (2) 間接疑問 (ifを使用)：トムが数学を好きかどうかを、私は知っている。

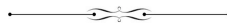
☞間接疑問を目的語 (◎) の位置に入れる。

- (3) 間接疑問 (whetherと節末or notを使用)：トムが数学が好きかどうかを、私は知っている。

☞「for not」を文末に挿入。

- (4) 間接疑問 (whether or notを使用)：トムが数学が好きかどうかを、私は知っている。

☞「for not」をwhetherの後ろに挿入。



- (5) 肯定文：メアリは明日パーティーに来ます。

☞willを使用。

- (6) 間接疑問 (ifを使用)：メアリが明日パーティーに来るかどうかを、私は知っている。

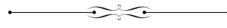
☞間接疑問を目的語 (◎) の位置に入れる。

- (7) 間接疑問 (whetherと節末or notを使用) : メアリが明日パーティーに来るかどうか私は知っている。

☞ 「for not」を文末に挿入。

- (8) 間接疑問 (whether or notを使用) : メアリが明日パーティーに来るかどうか私は知っている。

☞ 「for not」をwhetherの後ろに挿入。



- (9) 肯定文 : 彼は死んでいます。

☞ 死んでいる=be dead。

- (10) 間接疑問 (ifを使用) : 彼が死んでるかどうかを、私は知っている。

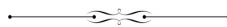
☞ 間接疑問を目的語 (◎) の位置に入れる。

- (11) 間接疑問 (whetherと節末or notを使用) : 彼が死んでるかどうかを、私は知っている。

☞ 「for not」を文末に挿入。

- (12) 間接疑問 (whether or notを使用) : 彼が死んでるかどうかを、私は知っている。

☞ 「for not」をwhetherの後ろに挿入。



- (13) 肯定文 : 君は明日そのパーティーに来るでしょう。

☞ 助動詞willを使用。

- (14) 間接疑問 (ifを使用) : 君が明日そのパーティーに来るかどうか、教えてくれ。

☞ 命令文。教える=tell。

- (15) 間接疑問 (whetherと節末or notを使用) : 君が明日そのパーティーに来るかどうか、教えてくれ。

☞ 「for not」を文末に挿入。

(16) 間接疑問 (whether or notを使用) : 君が明日そのパーティーに来るかどうか、教えてくれ。

☞ 「or not」をwhetherの後ろに挿入。

(17) 間接疑問 (whetherと節末or notを使用) : ある仕事が快いかどうかは、その個人による。

☞ whether節を主語で使用。仕事=task ; 快い=pleasant ; ~よる=depend on ~ ; 個人=individual。

(18) 間接疑問 (whether or notを使用) : ある仕事が快いかどうかは、その個人による。

☞ whether節を主語で使用。仕事=task ; 快い=pleasant ; ~よる=depend on ~ ; 個人=individual。

(19) 間接疑問 (whetherと節末or notを使用) : それがよい計画かどうかは問題じゃない。

☞ whether節を主語で使用。問題だ、問題になる=matter (一般動詞)。

(20) 間接疑問 (whether or notを使用) : それがよい計画かどうかは問題じゃない。

☞ whether節を主語で使用。問題だ、問題になる=matter (一般動詞)。

解答

- (1) Tom likes math.
- (2) I know if Tom likes math (or not).
- (3) I know whether Tom likes math or not.
- (4) I know whether or not Tom likes math.
- (5) Mary will come to the party tomorrow.
- (6) I know if Mary will come to the party tomorrow (or not).
- (7) I know whether Mary will come to the party tomorrow or not.
- (8) I know whether or not Mary will come to the party tomorrow.
- (9) He is dead.
- (10) I know if he is dead (or not).
- (11) I know whether he is dead or not.
- (12) I know whether or not he is dead.
- (13) You will come to the party tomorrow.
- (14) Tell me if you will come to the party tomorrow (or not).
- (15) Tell me whether you will come to the party tomorrow or not.
- (16) Tell me whether or not you will come to the party tomorrow.
- (17) Whether a task is pleasant or not depends on the individual.
- (18) Whether or not a task is pleasant depends on the individual.
- (19) Whether it's a good plan or not doesn't matter.
- (20) Whether or not it's a good plan doesn't matter.



文法：疑問：間接疑問



文法：疑問：間接疑問：基礎演習：Yes/No解答不可

Yes/Noで解答不可能な疑問文内の間接疑問

Yes/No解答可の場合（基本）：Do you know what Mr. Hiraishi teaches?
平石先生が何を教えているか知ってる？

—Yes, I do. / No, I don't.

—はい、知ってるよ。 / いいえ、知らないよ。

Yes/No解答不可の場合：What do you think Mr. Hiraishi teaches? ☞疑問詞whatが文頭に移動。
平石先生が何を教えていると思う？

—I think he teaches mathematics. ☞具体的に答える必要がある。

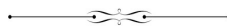
—数学を教えていると思うよ。

(1) これが何であるかを、あなたは知っていますか？

☞Yes/No解答可の疑問文。

(2) これが何であると、あなたは思いますか？

☞Yes/No解答不可の疑問文。

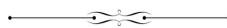


(3) いつその授業が終わるか、あなたは知っていますか？

☞Yes/No解答可の疑問文。be over（終わる）を使用。

(4) いつその授業が終わると、あなたは思いますか？

☞Yes/No解答不可

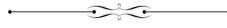


(5) 誰が明日来るか、あなたは知っていますか？

☞Yes/No解答可の疑問文。

(6) 誰が明日来ると、あなたは思いますか？

☞Yes/No解答不可の疑問文。

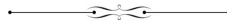


(7) どこにその猫がいるか、あなたは知っていますか？

☞ Yes/No解答可の疑問文。

(8) どこにその猫がいると、あなたは思いますか？

☞ Yes/No解答不可の疑問文。

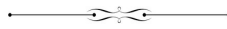


(9) (その) 問題が何か、あなたは知っていますか？

☞ Yes/No解答可の疑問文。

(10) (その) 問題は何だと、あなたは思いますか？

☞ Yes/No解答不可の疑問文。

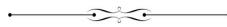


(11) なぜ私たちが東京を去ったか、あなたは知っていますか？

☞ Yes/No解答可の疑問文。

(12) なぜ私たちが東京を去ったと、あなたは思いますか？

☞ Yes/No解答不可の疑問文。



(13) トムが1年にいくら稼ぐか、あなたは知っていますか？

☞ Yes/No解答可の疑問文。稼ぐ=earn；いくら（金額）=how much；一年に=a year（前置詞は不要）。

(14) トムが1年にいくら稼ぐと、あなたは思いますか？

☞ Yes/No解答不可の疑問文。

解答

- (1) Do you know what this is?
- (2) What do you think this is?
- (3) Do you know when the class will be over?
- (4) When do you think the class will be over?
- (5) Do you know who will come tomorrow?
- (6) Who do you think will come tomorrow?
- (7) Do you know where the cat is?
- (8) Where do you think the cat is?
- (9) Do you know what the problem is?
- (10) What do you think the problem is?
- (11) Do you know why we left Tokyo?
- (12) Why do you think we left Tokyo?
- (13) Do you know how much Tom earns a year?
- (14) How much do you think Tom earns a year?